

◎主な研究成果のご紹介

◆**抵抗性クロマツによるマツ材線虫病対策**

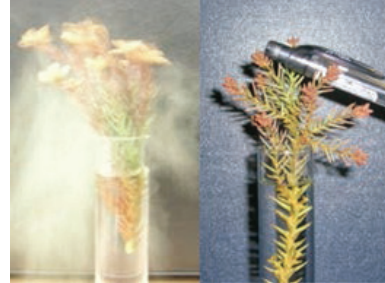
【目的】マツ材線虫病に強いクロマツ種苗を生産する。  
 【結果】センチュウに感染していない抵抗性クロマツ接ぎ木苗を増殖した。  
 【今後】マツ材線虫病抵抗性クロマツ採種園を造成する。



抵抗性クロマツ接ぎ木の増殖

◆**スギ花粉症対策品種の開発**

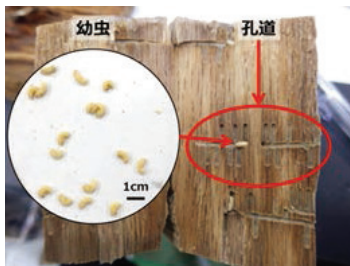
【目的】県内の造林に適した無花粉スギを開発・普及する。  
 【結果】成長が良い無花粉スギを20品種開発した。  
 【今後】採種園・採穂園を整備し、造林用種苗を供給する。



普通のスギ(左)と無花粉スギ(右)

◆**ナラ枯れ被害の拡大防止に向けて**

【目的】ナラ枯れ被害の発生を予測し、被害拡大を防止する。  
 【結果】発生予察等により、ナラ枯れ被害を早期発見し、的確な防除に努めた。  
 【今後】被害拡大防止のために調査範囲を拡大し被害発生予測を行う。



被害木の断面(カシノナガキクイムシの孔道と幼虫)

◆**森づくりの低コスト化に向けて**

【目的】再造林コスト削減をめざし低コスト造林技術を確立する。  
 【結果】コンテナ苗植栽により植栽効率が向上することが確認された。  
 【今後】その他の低コスト造林技術について効果の検証を行う。



コンテナ苗の植栽試験

◆**公共建築物への県産材利用に向けて**

【目的】公共建築に対応する製材品生産技術を開発する。  
 【結果】強度選別の手法が効率的生産に有効であることを実証した。  
 【今後】生産技術の確立とともに強度データの整備を図る。



公共建築に使用する建材の強度測定

◆**放射能による野生きのこの出荷制限の解除に向けて**

【目的】野生きのこの出荷制限解除に向け安全性を実証する。  
 【結果】県内のナラタケ類の安全性を実証し出荷制限が解除された。  
 【今後】他の野生きのこの出荷制限解除に向け調査を継続する。



野生のナラタケ

◎**その他の試験・研究・調査のご紹介**

- ◆森林施業と林地環境に関する調査
- ◆マツ材線虫病等森林病虫獣害発生予察調査
- ◆林業用種子の生産・販売
- ◆カラマツの着果促進技術の開発

- ◆食用きのこの育種
- ◆初雪たけの種菌供給、特用林産物生産の技術指導
- ◆木材加工技術の指導
- ◆木材等の生産加工技術の開発